

# Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



MGI030-P04

会場:コンベンションホール

時間:5月25日 16:15-18:45

## 地盤物性データベース「KuniJiban」整備を目的とした岩石物性データの収集と分析 Collection and analysis of physical properties of rocks for enhancing the geotechnical database KuniJiban

高橋 亨<sup>1</sup>, 稲崎 富士<sup>2\*</sup>

Toru Takahashi<sup>1</sup>, Tomio INAZAKI<sup>2\*</sup>

<sup>1</sup> 深田地質研究所, <sup>2</sup> 土木研究所

<sup>1</sup>Fukada Geological Institute, <sup>2</sup>PWRI Tsukuba Central Institute

国土交通省の国土地盤情報検索サイト「KuniJiban」では、2010年4月現在で、75,000件のボーリング柱状図情報と土質試験結果一覧情報が公開されている。しかしながら、収録されたデータの多くは未固結の土質試料に対する試験結果であり、岩石試料に対する試験結果はほとんど登録されていない。そこで、筆者達は、国土交通省がこれまでにダムやトンネル建設等に伴って実施してきた調査における岩石試験データを系統的に収集し、データベース化する作業を開始した。数値化する前に、既往の地盤・岩石物性データベースを参考に、データベースに収録するデータ項目について検討を行った。その結果、収録する主な物性値として、P波、S波超音波速度、変形係数、一軸および三軸圧縮強度に、基本物性として密度、含水比、間隙率、磁化率を選定した。岩石試料が得られたサイトの位置情報や地質情報等も合わせて収録する。現在までに、ダムサイトの調査で得られたデータ約1600件を収録した。収録したデータの品質チェックのために、主要な物性値間の相関図を作成するとともに、他のデータベースに収録された物性との比較検討も行った結果、ここまで収録したデータは今後の各種解析に供することのできる品質を有していることを確認した。

キーワード: データベース, KuniJiban, 岩石物性, 室内岩石試験

Keywords: database, KuniJiban, physical properties of rocks, laboratory rock test